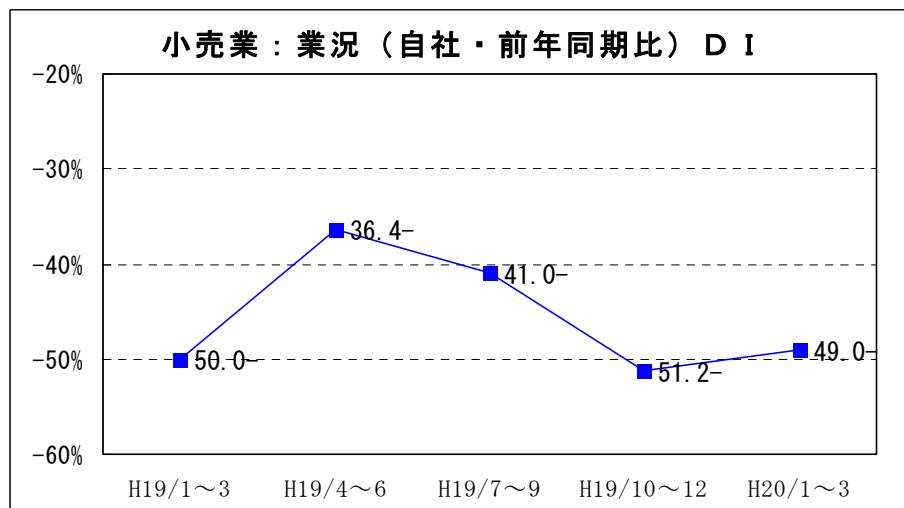


4. 小売業の動向

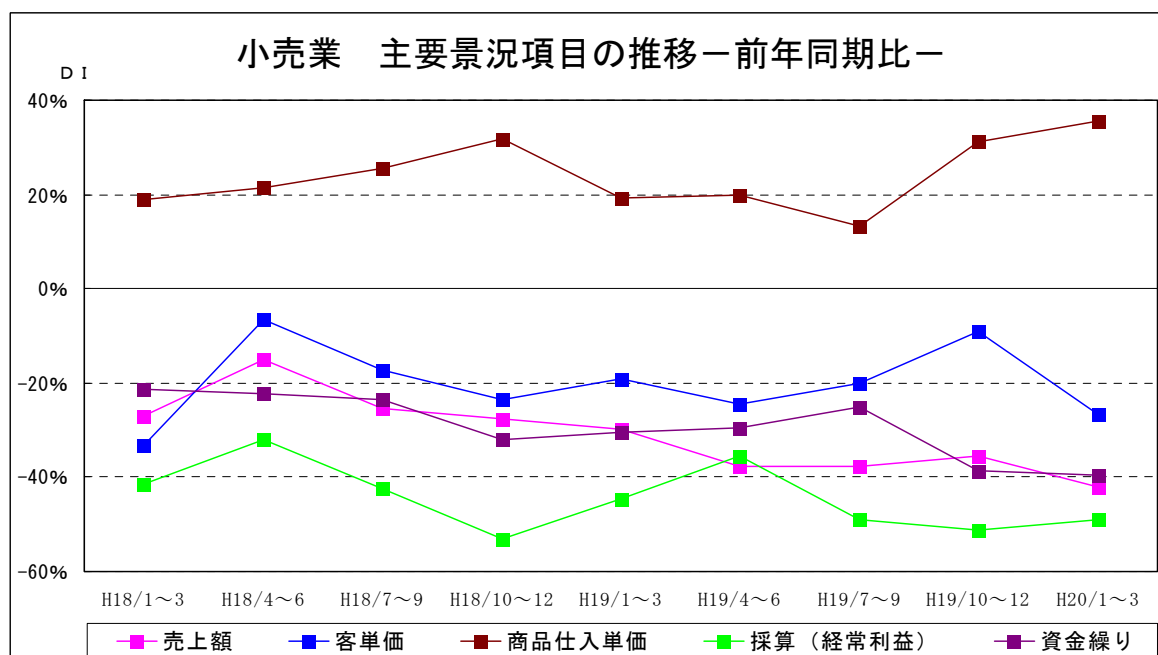
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス51.2。前期のマイナス41.0から10.2ポイント下降、悪化。来期見通しは、マイナス54.6と、さらに悪化の見込み。



小売業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

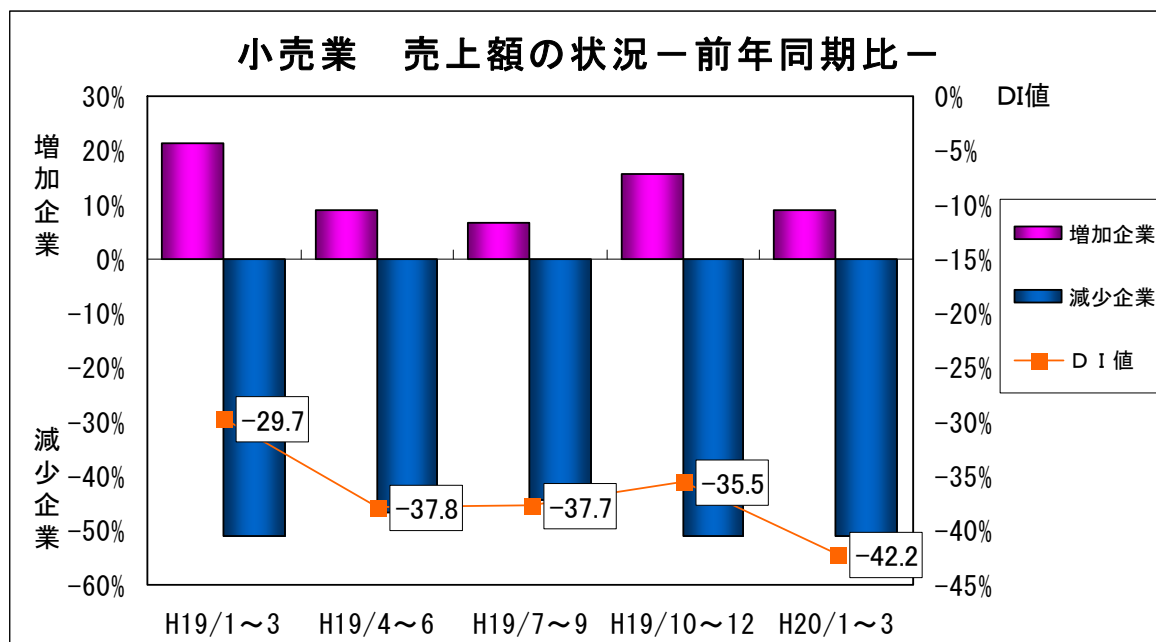
	前々期 (19年7月~9月)	前期(A) (19年10月~12月)	今期(B) (19年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上額	▲37.7	▲35.5	▲42.2	▲6.7	▲26.7
客単価	▲20.0	▲8.9	▲26.6	▲17.7	▲24.4
商品仕入単価	13.3	31.1	35.5	▲4.4	24.5
採算（経常利益）	▲48.9	▲51.2	▲49.0	▲2.2	▲33.3
資金繰り	▲25.0	▲38.6	▲39.5	▲0.9	▲34.8



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

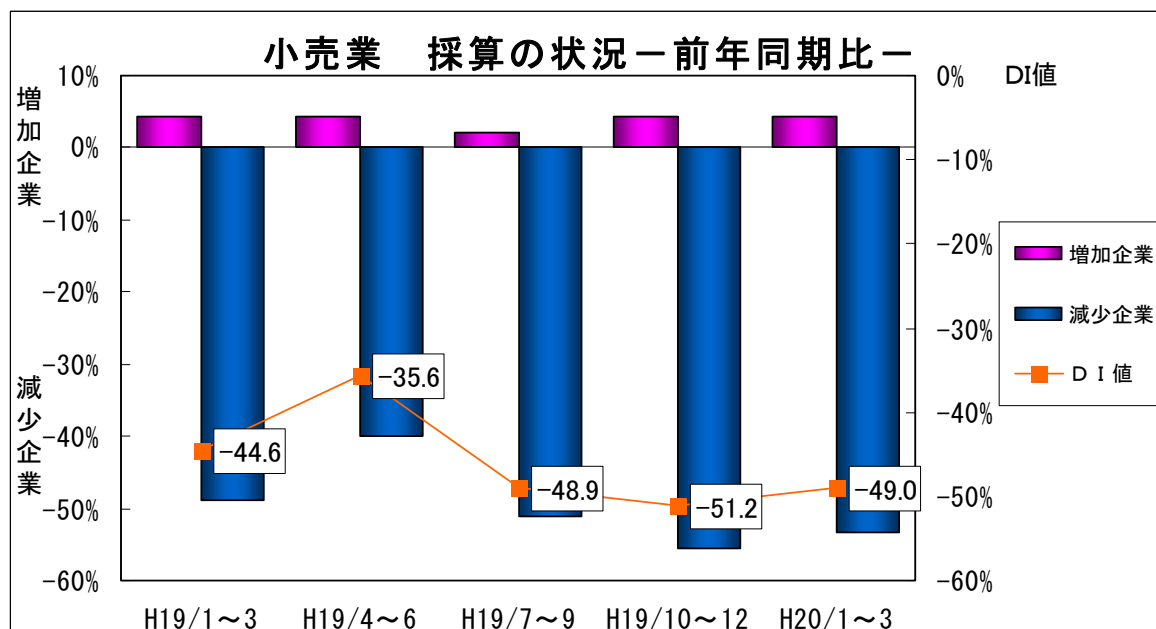
①売上額 (前年同期比)

今期の売上額D I 値は、マイナス 42.2。前期のマイナス 35.5 から 6.7 ポイント下降、悪化。来期見通しはマイナス 26.7 と大幅に回復する見込み。



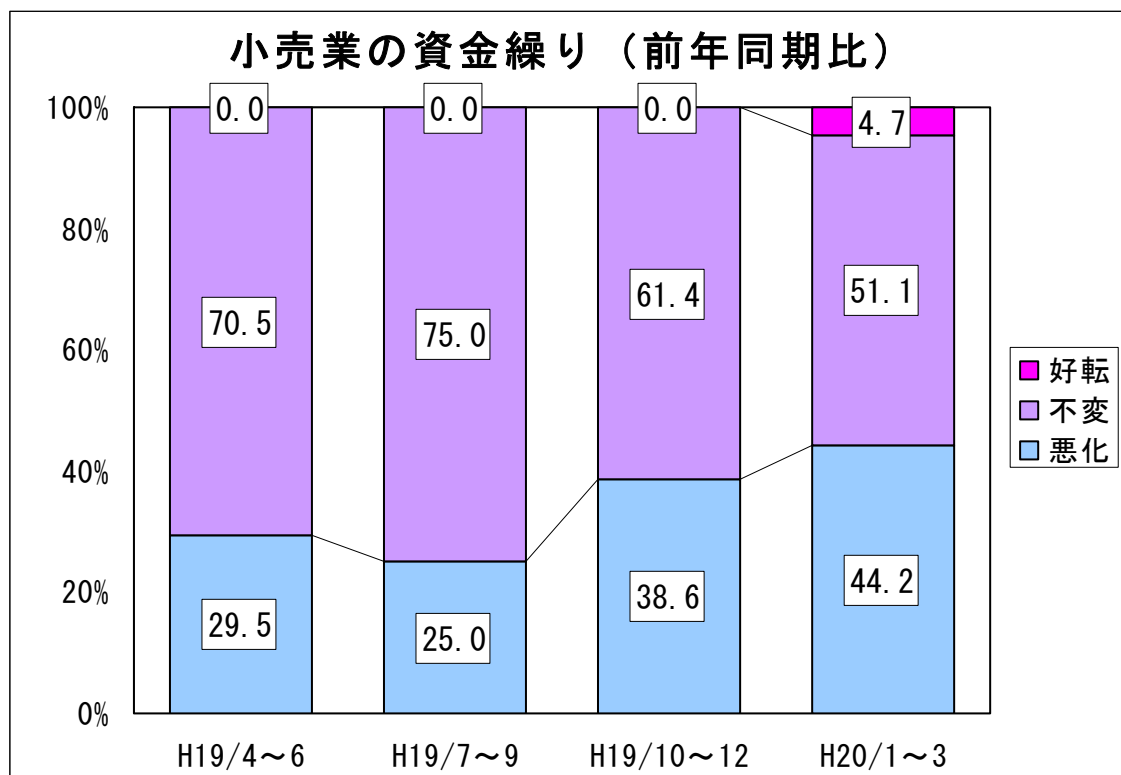
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 49.0。前期のマイナス 51.2から 2.2 ポイント上昇、回復。来期見通しはマイナス 33.3 と大幅な回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 39.5。前期のマイナス 38.6 から 0.9 ポイント下降、若干の悪化。来期見通しはマイナス 34.8 と回復の見込み。

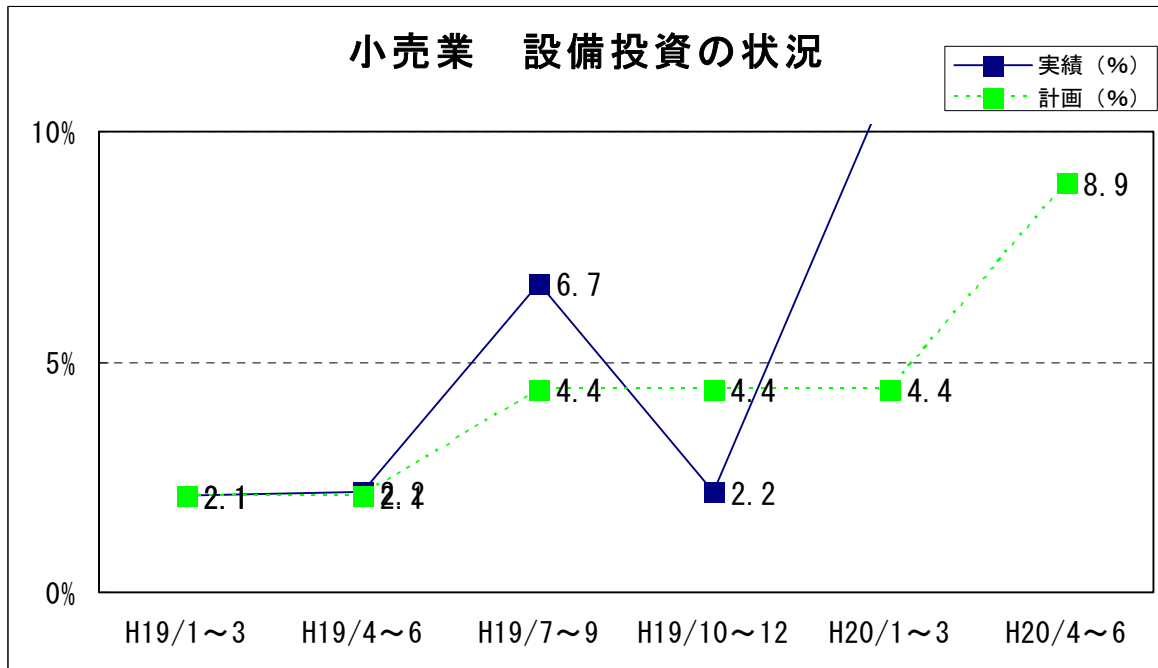


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	店舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	44
(%)	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	97.8
今期実施 (実数)	5	0	2	1	2	1	1	0	1	40
(%)	11.1	0.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	88.9
来期計画 (実数)	4	0	0	0	2	0	1	0	1	41
(%)	8.9	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	91.1

今期設備投資を実施した企業は 5 社 (11.1%)。前期 (平成 19 年 10~12 月期) の実施企業 1 社 (6.7%) より 4 社増加。来期は 4 社 (8.9%) が、車両・運搬具、OA 機器、その他への投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、
「購買力の他地域への流出」 (前期 51% → 今期 58%)、
「大型店・中型店の進出による競争の激化」 (前期 40% → 今期 54%)、
「消費者ニーズの変化」 (前期 40% → 今期 28%)、
「仕入単価の上昇」 (前期 23% → 28%) となっている。

